

福田総理演説 骨子

- 食料価格高騰は深刻な問題。MDGsを達成できないおそれあり。
- T I C A D I V でも本問題について議論。強い切迫感を持って今回の会合に出席。

(基本的考え方)

- 我々は認識をともにし、原因を分析し、緊急～中長期の包括的かつ一貫した対策を一致団結してとるべき。
- 国連、世銀等による「包括的行動枠組み」は極めて重要な基盤。

(危機への緊急対応)

- 緊急食糧援助約1億ドルを発表済み。更に約5,000万ドルの貧困農民に対する食料増産支援を早急を実施。
- 飢餓層の社会的救済策、農産物の作付け支援にも積極的に貢献。
- 保有する輸入米のうち30万トン以上を放出する用意あり。各国にも同様の措置を呼びかけ。食料市場の沈静化に役立つことを期待。
- 食料市場の現状に投機的な側面があるとすれば、それを監視すべきという強い政治的意思を示すべき。
- 輸出規制自粛を呼びかけ。WTOへの提案に対する支持を期待。

(中長期的施策)

- 各国が自らの資源を活用して農業生産を強化することが重要。
- 我が国も国内の農業改革を進め、食料自給率の向上を通じて世界の食料需給の安定化に貢献すべく努力。
- 途上国の農業生産性、生産能力向上は急務。国際社会は農業分野の支援増額に取り組むべき。
- T I C A D I V での対アフリカ農業支援（①コメ生産倍増、②灌漑等のインフラ整備、③品種改良のための研究、④人材育成）。
- 途上国の農業が気候変動に適応していくための取組みが必要。日本は「クールアース・パートナーシップ」で支援。
- バイオ燃料のために世界の食料安全保障が脅かされることがないよう、第二世代バイオ燃料の実用化等が急務。我が国も積極的に取り組む。

(北海道洞爺湖サミットに向けて)

- サミットでは、今次成果を踏まえてしっかりと議論をし、行動につなげていく。力強いメッセージを共同で発出する決意。